トップニュース

浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ　そのまま救う」の　弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは　本来一つゆえ
「そのまま救う」が　弥陀のよび声
ありがとう　といただいて
この愚身をまかす　このままで
救い取られる　自然の浄土
仏恩報謝の　お念仏

み教えを依りどころに生きる者　となり
少しずつ　執われの心を　離れます
生かされていることに　感謝して
むさぼり　いかりに　流されず
穏やかな顔と　優しい言葉
喜びも　悲しみも　分かち合い
日々に　精一杯　つとめます

ご門主が4月15日、立教開宗記念法要の後にご親教を述べられ（写真）、「私たちも（親鸞）聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、ここにその肝要を『浄土真宗のみ教え』として味わいたい」として、右の「浄土真宗のみ教え」を示された。宗門校の龍谷大学・入澤崇学長に「『浄土真宗のみ教え』をいただいて」と題して執筆してもらった。

「浄土真宗のみ教え」をいただいて

今、問われる人間の営み

4月15日の立教開宗記念法要において、専如ご門主がご親教の中で、親鸞聖人の教えの精髄を新たにまとめた「浄土真宗のみ教え」を示されました。新型コロナウイルス感染の蔓延が止まらない状況下でのこのお示しは特別な意義を有します。

いま全人類がコロナ禍という同じ課題に直面しています。コロナ禍はあらゆる局面に強い影響を及ぼし、私たちのいのちを脅かしています。地球的視野で現代社会をみつめるならば、コロナ禍をはじめとしてあまりに多くの深刻な課題があることに気づきます。紛争、貧困、経済格差、気候変動など、いまや地球が危機的状況にあります。地球が悲鳴をあげているのです。決して大げさな表現ではありません。

人類の活動が地球のあり方を根本的に変えてしまったことで、近年「人新世（ひとしんせい）」という地質学の概念がさまざまな分野で使われるようになっています。新型コロナウイルスのパンデミックに見られるように、次々と数多くの危機事象が私たちの生活を脅かす、これが「人新世」の特徴です。

まさに今、人間の営みが問われているのです。人間の行き過ぎた自然開発や過剰なる二酸化炭素の排出が生態系に大きな影響を及ぼしています。人間の行為、人間の行動、これが問題を引き起こしているとするならば、誰にとっても他人事ではないはずです。人間存在そのものを厳しく問うまなざしが今や痛切に求められています。私たちが依りどころにすべきは、人間中心のものの見方や自己中心性に基づく思考を促す人知ではなく、人知を超えたはたらきでなくてはなりません。その点からして、このたびのご門主のご親教は時機に叶ったまことに意義深いものであります。

激動の鎌倉時代、親鸞聖人が人間のありようを根源的に問いかけ、まことの生き方を求められました。阿弥陀仏の誓願に出遇われ、誓願に照らされた「真実の生き方」を顕かにされたのです。いかに自分というものが至らない存在であるか、その至らぬ存在の自分に対し阿弥陀仏の智慧と慈悲の光が届いているという不思議。それは思議を超えた世界からのよび声、「南無阿弥陀仏」となって私たちに届いています。この思議を超えたはたらきかけこそが、常にわが身を省みて社会のために尽くす人格を形成させ、社会のさまざまな問題に果敢に立ち向かっていく念仏者の生き方を生み出すのです。

み教えに遇って生き方が変わる

ご門主がお示しになられた「浄土真宗のみ教え」は前段に教えの根本が、後段には教えを依りどころに生きる者のありようが説かれています。私たちがどのように生きていくかが問われている今であればこそ、全身で受けとめねばなりません。私たちの日常と言えば、執われの心に支配され、生かされていることに対する感謝の念を忘れ、むさぼりやいかりといった負の感情に流されている。これが私たちの現実の姿です。どこまでいっても自己本位に生きていることに気づかされる教えに遇ってこそ、本物の救いの道が見えてきます。少しずつではありますが生き方が変わってくるのです。

穏やかな顔と優しい言葉（「和顔愛語」）をつねに心がけるだけでも生き方は変わってきます。他者へかける思いはよりよき社会構築の要です。親鸞聖人が「浄土真宗は大乗のなかの至極なり」と言われるように、大乗仏教の根幹にある他者性を浄土真宗は有しています。

社会貢献活動とみ教え

近年、環境問題をはじめとして社会の課題に関心を寄せる若者が増えつつあります。弱い立場におかれた人に手を差し伸べる活動に積極的に関わろうとする学生の活動には目を見張るものがあります。そうした社会貢献活動と浄土真宗のみ教えとは実は親和性があるのです。各人の社会貢献活動は必ず「壁」にぶち当たり、悩みが生じてきます。「自分のやっている小さなことに意味があるのだろうか」と。親鸞聖人の深い人間観はそうした悩みを包み込みます。若者は問題に直面した時に、わが身を省みることで、その都度その都度、軌道修正を図りながら活動を進めていくことができるのです。龍谷総合学園に加盟する学校では今、仏教とSDGsを結び付けた「仏教SDGs」を展開し、各地域で注目を集めつつあります。自分たちに今できることを考える学びの輪が広がりつつあるのです。

喜びも悲しみも分かち合いながら、日々に精一杯つとめること。これを教育現場で実践することにより世の中の空気は変わっていくでありましょう。新しい世代が社会を動かしていくのです。

宗門人はご門主の思いを心に留め、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現を目指してまいりましょう。

入澤　崇
龍谷大学学長
龍谷総合学園理事長

本願寺新報
hongwanji journal
5月20日（木曜日）
毎月1日・10日・20日発行
発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

茶道 藪内家燕庵
京都市下京区西洞院正面下ル
http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
微笑み語りかける仏さまのように
一、自分だけを大事にすることなく
しなやかな心と振る舞いを心がけます
人と喜びや悲しみを分かち合います
一、生かされていることに気づき
慈悲に満ちみちた仏さまのように
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

赤光白光

5月の大型連休は、家族を連れて年1回の故郷の寺への帰省が恒例となっている。前住職となった父は81歳、悪性リンパ腫に侵される。4月中旬、母から電話がかかり、「本人の希望で延命治療はせず、このままお寺で最期を迎えようと思う。もって半年だそう」。受話器越しの声は重かった。日を追う毎に体が弱ってきたと聞くと、会いたい気持ちは強くなる。しかし、万が一、私や家族がコロナに感染していたらと悩み、帰省を断念した。

▼母にそれを告げた後、父が電話を代わった。病気の進行に伴い視力と聴力も弱ってきたという。こちらの声は聞こえていない。そして、絞り出すような弱々しい声で、私の名前を何度か呼びながら「ありがとう。たのんだぞ」。

▼祖父は50歳で亡くなった。当時、中学生だった父は、そこから門徒宅へのお参りを始め、龍谷大学在学中も、時間を作り自坊に戻っていたという。お念仏一筋に生き、多くのご門徒に慕われている。

▼私には厳しい父だった。その父から出た「たのんだぞ」。重い一言でもあったが、なぜか不思議に温かかった。私のすべてが、父にとってずっと心配でたまらない存在であり、自らのいのちの灯りが消えようとしているにもかかわらず、願い続けてくれているのだと感じた。お念仏を申させていただく中で、阿弥陀さま、そして父の願いに応える人生を歩んでいきたい。「老いと病も私の人生」と受けとめた父は今でも好きなお酒を飲んでいるそうだ。　（N）

親鸞聖人御誕生 850
立教開宗 800
ご縁を慶び、お念仏とともに

福岡支局 〒812−0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円（年間4,080円） 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181／大谷本廟 075(531)4171
宗派公式Webサイト　https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ　https://www.hongwanji.kyoto

探究社 http://www.tankyusha.co.jp
今、ここに在る身命
四十八願を語る（上） 藤田徹文・四六判並製・1980円 〜第一願〜第十六願〜
四十八願を語る（中） 藤田徹文・四六判並製・1760円 〜第十七願〜第三十願〜
四十八願を語る（下） 藤田徹文・四六判並製・1760円 〜第三十一願〜第四十八願〜
仏の声を聞く 東井義雄・四六判並製・880円
家にこころの灯を 東井義雄・四六判並製・1760円
日めくり 心の読み薬 〜マインドフルネス処方箋〜 吉村隆真・四六判並製・1320円
探究社の好評書（価格はすべて税込）
●好評につき増刷
浄土真宗 ポケットブック 読みやすさに最大限配慮した“いざという時、すぐに役に立つ”一冊。 165円
お浄土をしのんで 〜中陰掛け 七日七日の法話〜 中陰掛けは、お仏壇のそばに掛けて味わう身近なお念仏の法話集です。 385円
〒520-0027 大津市錦織2丁目9-30-101
TEL 077 (599) 4201　FAX 077 (599) 4220
[e-mail] post@tankyusha.co.jp

方丈堂出版 https://hojodo.jp/
ライブ感溢れる絵解き法話。人気急上昇DVD!!
二河白道 新発売!! 大好評 推薦DVD 中西満義著／A5判上製 268頁／税込価格4,400円
西行の和歌と伝承 日本文学・詩歌 推薦BOOK 見失った何かが確かに表現されている。
聖徳太子御絵伝御絵解 推薦DVD 「聖徳太子御絵伝」絵解きの伝承。長谷川 慶順の実演を完全収録!
長谷川 慶順 口演／DVD2枚組 収録2時間／税込価格10,476円
萬徳寺蔵の「二河白道図」三幅のその教えについて詳しく絵解きする。
浄土真宗本願寺派 布教使 沓名奈都子 口演／DVD1枚 収録1時間半／税込価格5,500円
出版目録 送呈 フリーダイヤル 0120-557-750
※価格はすべて税込
京都市伏見区日野不動講町38-25

法藏館 仏教の風410年 http://www.hozokan.co.jp
法藏館文庫［最新刊］続々刊行中!
ポストモダンの新宗教 現代日本の精神状況の底流 島薗 進［著］ 一、三一〇円
近代仏教スタディーズ 仏教からみたもうひとつの近代 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎［編］ 二、五三〇円
法事がわかれば親鸞がわかる 通夜から墓参りまで 北畠知量［著］ 一、三一〇円
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル　TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
表示価格は全て税込　新刊メール配信中!　お買上16,500円(税込)以上送料無料

最新刊
真宗からの倶舎・法相読本 北塔光昇著 定価2640円（税込）
仏教の基礎知識を得るための重要な内容を含む倶舎宗と法相宗を取り上げ、真宗が仏教各宗とどのような教義的な関係をもって存続してきたかを考える。
寺録に見る寺院の歴史 元浄公昭著 新田光子監修 定価660円（税込）
「寺録」は、一九四五年岩国陸軍燃料廠空襲、大勢の戦死者・戦没者、寺院の大切な梵鐘の供出など、戦争の跡を数多く色濃く記録している。
句集 もちだの里 松塚豊茂著 定価440円（税込）
この句を読めば松江・持田の自然豊かな光景が思い浮かぶ。すべての言葉は名号から出て名号にかえる、言が事、事が言。全百二十三句を掲載。
永田文昌堂 600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031